

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	太田 公昭	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3386		事務事業名称	外国語指導助手派遣事業					短縮コード	経常	3386	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等	地方自治法第172条第1項、地教行法第19条第1項、地公法第3条第3項第3号、経済的社会的及び文化的権利に関する国際理解第3部第13条第1～4項							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
国際化の進む社会の中で、英語力は不可欠といってもよい。また、国際理解教育の推進という意味からも事業を開始した。中学校の英語学習の充実を図るため、昭和54年に市が独自に採用を始め、昭和62年、国のJETプログラム及び姉妹都市交流プログラムからの採用を始めた。ALTの数が1人から63年度に2人、平成3年度3人、4年度に5人、12年度に6人と増員した。さらに小学校の英語活動の充実のために小学校英語活動助手を派遣している。これにより、グローバル化の進む現代社会の中で、世界的な共通語ともなりつつある英語で、初歩的なコミュニケーションをとる事ができる八千代市の子どもを育てる。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
国際化がますます進む今日、社会及び保護者の関心も高い。小学校においても英語活動が広く行われ、学習指導要領の改訂により、平成23年から小学校でも外国語活動が必修となった。						大項目（節）	01	学校教育					
						中 項 目	02	義務教育					
						小項目（施策）	02	教育内容の充実					
						細 項 目	01	学習・生徒指導の充実					
02	新しい教育環境への対応												
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	児童生徒									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 英語の授業の一環として外国人による英会話の指導を行う外国語指導助手（ALT）派遣。主として中学校を対象としている。招聘する外国人は姉妹都市からの招聘とJETプログラムからの招聘がある。小学校には民間委託により英語活動助手を配置した。									
	※平成21年度に計画していること： 平成20年度と同様。小学校においては、5、6年生において年間24時間の英語活動に派遣する予定。									
意図 （何を狙っているのか）	①生の英語に触れることにより英語力の向上を図る。 ②国際理解教育の推進（地理、歴史、文化、償還等の理解）									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	19年度	20年度		21年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	児童生徒数	人	15,552	16,164	16,337	16,663			
	指標2									
	指標3									
活動指標	指標1	ALT派遣人数	人	18	17	17	12			
	指標2									
	指標3									
成果指標	指標1	ALTに触れた児童生徒数	人	15,552	16,164	12,338	8,661			
	指標2									
	指標3									
上位成果指標	指標1									
	指標2									
	指標3									

コード	3386	事務事業名称	外国語指導助手派遣事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			学習指導要領の改訂に伴い、平成２３年度より小学校５・６年生の外国語活動が週１時間の必修となるため、小学校英語活動助手の増員が望まれる。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止（事業完了含む）								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			人的環境を整備するため。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・子どもたちの発音は美しくきれいになっている。（スピーチコンテストを聞いての保護者の意見等） ・子どもたちの英語活動, 英語学習への意欲が高まってきている。 ・「国際化時代に対応できる子どもたちの育成」ということで議会もこの事業の推進に理解を示している。									

所属長コメント	英語学習や国際理解教育において、英語指導助手・英語活動助手の果たす役割は大きい。平成２３年度から全面実施される小学校外国語活動を見据え、今後も充実した英語活動、英語指導の推進を目指したい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			経費の増加を伴うことであり、人的配置について費用対効果を検証し、推進可能なことは順次推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止（事業完了含む）									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									